

## 竹ヶ島海中公園自然再生協議会について

室戸阿南海岸国定公園 竹ヶ島海中公園は、徳島県の最南端で高知県境の穴喰町竹ヶ島の甲浦湾に位置し、エダミドリイシの大群落やハマサンゴ、オオスリバチサンゴ、シコロサンゴの大塊をはじめとする豊富な生物相を擁している。1970年以降に建設された沿岸構造物により、潮流による海水交換や波浪による攪乱度が低下し、濁度の増加及び微細粒子の堆積、サンゴ類をはじめとする生物相の減少が生じている。

平成 15 年度から、自然生態系の保全・再生に向けた計画策定のための調査を実施。

平成17年9月に自然再生推進法に基づく「竹ヶ島海中公園自然再生協議会」を設立。

(サンゴを中心とした海洋生態系の回復を図ることを検討。)

平成 18 年 3 月には「竹ヶ島海中公園自然再生全体構想」が作成された。

第 1 回自然再生協議会（平成 17 年 9 月 9 日）

- ・協議会の設立

第 2 回自然再生協議会（平成 17 年 12 月 12 日）

- ・自然再生推進計画の審議及び検討

第 3 回自然再生協議会（平成 18 年 2 月 23 日）

- ・全体構想（最終案）の協議、了承

竹ヶ島海中公園自然再生全体構想 作成（平成 18 年 3 月）

# 「竹ヶ島海中公園自然再生全体構想」の概要

## 自然再生の対象となる区域

海中公園地区をもっとも重要な対象区域とする。

また、海中公園を囲む周辺の海域と、海部川、穴喰川、および野根川の3水系の河川流域とその周辺地域を対象範囲とする。

## 自然再生の目標

エダミドリインが健全な状態で生き続けていける環境

自然再生の目標を達成するための個別目標

- ・ 「豊かな沿岸生態系の回復」
- ・ 豊かな沿岸生態系を維持できる「健全な水循環の再生」
- ・ 豊かな沿岸生態系と持続的に関わることのできる「元気な地域社会づくり」

## 自然再生協議会の構成員

専門家 7、個人 9、団体 15、

関係地方公共団体 5、関係行政機関 2

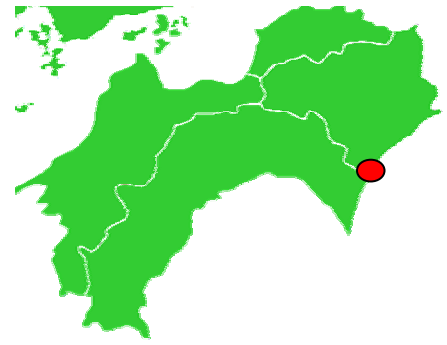
合計 38(個人・団体)

平成 18 年 9 月現在

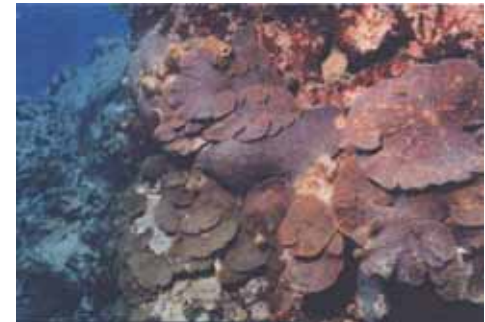
# 竹ヶ島海中公園自然再生協議会



自然再生の対象となる区域(全体構想より)



エダミドリイシサンゴ群集

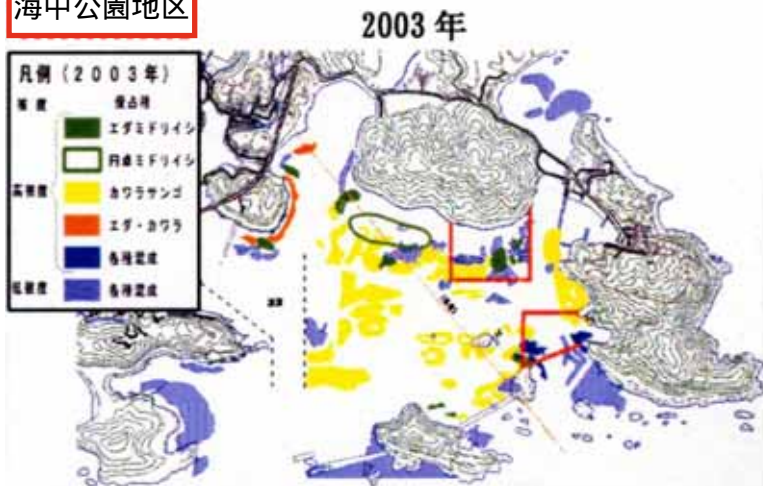


カワラサンゴ

70年代はエダミドリイシ優占区域がほとんどだったが、近年濁りに強いカワラサンゴが優占

凡例:

海中公園地区



海底に堆積している泥



防波堤整備箇所(赤点線部分)



防波堤

防波堤等の整備により湾内の静穏度が高まった反面、湾内への海水流入量が減少、浮泥等の滞留堆積を招きやすくなった。